

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-268968

(P2002-268968A)

(43) 公開日 平成14年9月20日(2002.9.20)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	データード ⁷ (参考)	
G 0 6 F 13/00	5 0 0	G 0 6 F 13/00	5 0 0 D	5 C 0 6 4
G 1 0 K 15/02		G 1 0 K 15/02		5 K 0 3 3
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 L 12/28	3 0 0 M	5 K 0 6 7
H 0 4 L 12/28	3 0 0	H 0 4 N 7/173	6 2 0 A	
H 0 4 N 7/173	6 2 0	H 0 4 B 7/26	1 0 9 M	

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2001-72478(P2001-72478)

(22) 出願日 平成13年3月14日(2001.3.14)

(71) 出願人 392026693

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
東京都千代田区永田町二丁目11番1号

(72) 発明者 的場 直人

東京都千代田区永田町二丁目11番1号 株
式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ内

(74) 代理人 100088155

弁理士 長谷川 芳樹 (外4名)

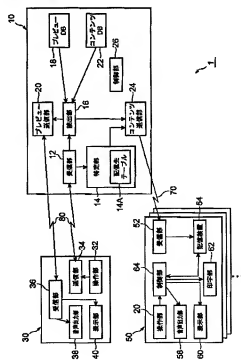
Fターム(参考) 5C064 B407 B810 BC18 BC25 BD02
BD08
5K033 BA13 C806 DA19 DB12 DB16
5K067 AA21 B804 DD51 EE02 EE16
FF01

(54) 【発明の名称】 情報配信システム、情報配信方法、サーバ及び携帯型端末

(57) 【要約】

【課題】 所望の据置型端末への配信指示を携帯型端末から行うことで、ユーザの使い勝手を向上させる。

【解決手段】 携帯電話30に、希望のコンテンツ項目及び配信先情報を入力する操作部32と、コンテンツ項目及び配信先情報が添付された配信要求をサーバ10へ送信する送信部34とを設け、サーバ10に、コンテンツが記憶されたコンテンツデータベース22と、配信要求を携帯電話30から受信する受信部12と、希望のコンテンツ項目に対応するコンテンツをコンテンツデータベース22から読み出す読出部16と、配信先情報に基づいて配信先の据置型端末50を特定する特定部14と、コンテンツを配信先の据置型端末50へ送信するコンテンツ送信部24とを設けたので、ユーザは、配信を希望するコンテンツ項目及び配信先情報を携帯電話30から入力することで、配信先の据置型端末50へ所望のコンテンツを配信させることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 携帯型端末と、前記携帯型端末とネットワークを介して通信可能なサーバと、前記サーバからコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えた据置型端末と、を含んで構成された情報配信システムであって、

前記携帯型端末は、ユーザが配信を希望するコンテンツ項目情報及び配信先特定情報を入力するための入力手段と、

入力されたコンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を前記サーバへ送信する送信手段と、

を有し、前記サーバは、コンテンツ項目に対応づけてコンテンツが記憶されたコンテンツデータベースと、

コンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を前記携帯型端末から受信する受信手段と、

受信されたコンテンツ項目に対応するコンテンツを前記コンテンツデータベースから読み出す読み出し手段と、

受信された配信先特定情報に基づいて配信先の据置型端末を特定する特定手段と、

読み出されたコンテンツを前記配信先の据置型端末へ送信するコンテンツ送信手段と、

を有する情報配信システム。

【請求項 2】 前記携帯型端末は、

ユーザが事前確認を希望する確認対象のコンテンツ項目情報を入力するための事前確認入力手段と、

入力された確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を前記サーバへ送信する事前確認用送信手段と、

前記サーバから事前確認用コンテンツを受信する事前確認用受信手段と、

受信された事前確認用コンテンツを出力する事前確認用出力手段と、

をさらに有し、前記サーバは、

コンテンツ項目に対応づけて事前確認用コンテンツが記憶された事前確認用コンテンツデータベースと、

確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を前記携帯型端末から受信する事前確認用受信手段と、

受信されたコンテンツ項目に対応する事前確認用コンテンツを前記事前確認用コンテンツデータベースから読み出す事前確認用読み出し手段と、

読み出された事前確認用コンテンツを前記携帯型端末へ送信する事前確認用送信手段と、

をさらに有することを特徴とする請求項 1 記載の情報配信システム。

【請求項 3】 携帯型端末と、コンテンツ項目に対応づけてコンテンツが記憶されたコンテンツデータベースを

備え前記携帯型端末とネットワークを介して通信可能なサーバと、前記サーバからコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えた据置型端末と、を含んで構成された情報配信システムにおける情報配信方法であって、

ユーザにより入力された配信希望のコンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を、前記携帯型端末から前記サーバへ送信する配信要求送信工程と、

前記サーバにて、受信されたコンテンツ項目に対応するコンテンツを前記コンテンツデータベースから読み出すとともに、受信された配信先特定情報に基づいて配信先の据置型端末を特定する配信準備工程と、

読み出されたコンテンツを前記サーバから前記配信先の据置型端末へ送信するコンテンツ送信工程と、

を有する情報配信方法。

【請求項 4】 前記配信要求送信工程に先立って実行される、

ユーザにより入力された確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を、前記携帯型端末から前記サーバへ送信する確認要求送信工程と、

前記サーバにて、コンテンツ項目に対応づけて事前確認用コンテンツが記憶された事前確認用コンテンツデータベースから、受信された確認対象のコンテンツ項目に対応する事前確認用コンテンツを読み出す読み出し工程と、

読み出された事前確認用コンテンツを前記サーバから前記携帯型端末へ送信する事前確認用送信工程と、

前記携帯型端末にて、受信された事前確認用コンテンツを出力する出力工程と、

をさらに有することを特徴とする請求項 3 記載の情報配信方法。

【請求項 5】 ネットワークを介して通信可能な携帯型端末、及びコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えた据置型端末とともに、

情報配信システムを構成するサーバであって、

コンテンツ項目に対応づけてコンテンツが記憶されたコンテンツデータベースと、

前記携帯型端末のユーザが配信を希望するコンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を、前記携帯型端末から受信する受信手段と、

受信されたコンテンツ項目に対応するコンテンツを前記コンテンツデータベースから読み出す読み出し手段と、

受信された配信先特定情報に基づいて配信先の据置型端末を特定する特定手段と、

読み出されたコンテンツを前記配信先の据置型端末へ送信するコンテンツ送信手段と、

を有するサーバ。

【請求項 6】 コンテンツ項目に対応づけて事前確認用コンテンツが記憶された事前確認用コンテンツデータベースと、

前記携帯型端末のユーザが事前確認を希望する確認対象

のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を、前記携帯型端末から受信する事前確認用受信手段と、受信されたコンテンツ項目に対応する事前確認用コンテンツを前記事前確認用コンテンツデータベースから読み出す事前確認用読み出し手段と、読み出された事前確認用コンテンツを前記携帯型端末へ送信する事前確認用送信手段と、をさらに有することを特徴とする請求項5記載のサーバ。

【請求項7】 コンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を受信し、前記コンテンツ項目に対応するコンテンツを、前記配信先特定情報に基づき特定される配信先の据置型端末へ送信する機能を有するサーバと、前記サーバからコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えた据置型端末とともに、情報配信システムを構成する携帯型端末であって、ユーザが配信を希望するコンテンツ項目情報及び配信先特定情報を入力するための入力手段と、入力されたコンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を前記サーバへ送信する送信手段と、を有する携帯型端末。

【請求項8】 ユーザが事前確認を希望する確認対象のコンテンツ項目情報を入力するための事前確認用入力手段と、事前確認用コンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を受信し且つ前記事前確認用コンテンツ項目に対応する事前確認用コンテンツを要求元へ送信する機能を備えたサーバへ、前記入力された確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を送信する事前確認用送信手段と、前記サーバから事前確認用コンテンツを受信する事前確認用受信手段と、受信された事前確認用コンテンツを出力する事前確認用出力手段と、をさらに有する請求項7記載の携帯型端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報配信システム、情報配信方法、サーバ及び携帯型端末に係り、より詳しくは、携帯型端末と、携帯型端末とネットワークを介して通信可能なサーバと、サーバからコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えた据置型端末と、を含んで構成された情報配信システム、当該システムで実行される情報配信方法、当該システムを構成するサーバ及び携帯型端末に関する。

【0002】なお、本明細書で「コンテンツ」とは、映画、音楽、書籍等の内容を表す音声データ及び画像データを意味する。

【0003】

【従来の技術】近年、画像や音声の再生機能を備えた携帯型端末へ所望のコンテンツを配信する情報配信サービスが行われている。但し、携帯型端末は小型・軽量化を図るため、コンテンツを記憶するための大容量の記憶装置を備えておらず、映像データであれば再生時間が5分程度のものを配信するのが一般的である。

【0004】このため、数十分や数時間に及ぶ映画や音楽等のコンテンツは、携帯型端末ではなく、大容量の記憶装置を備えた据置型の自宅のパーソナルコンピュータ（パソコン）や記憶装置内蔵のオーディオ機器等に配信されるのが一般的である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来はこれら自宅のパソコン等への配信を要求する場合、ユーザは自宅等にて当該パソコン等から指示しなければならず、外出中に携帯電話等から配信先を指定して配信指示することができなかった。このようにユーザの使い勝手の面で、未だ改善の余地があった。

【0006】本発明は、上記課題を解決するために成されたものであり、所望の据置型端末への情報配信指示を携帯型端末から行うことで、ユーザの使い勝手を向上させることができる情報配信システム及び情報配信方法を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明に係る情報配信システムは、携帯型端末と、前記携帯型端末とネットワークを介して通信可能なサーバと、前記サーバからコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えた据置型端末と、を含んで構成された情報配信システムであって、前記携帯型端末は、ユーザが配信を希望するコンテンツ項目情報及び配信先特定情報を入力するための入力手段と、入力されたコンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を前記サーバへ送信する送信手段と、を有し、前記サーバは、コンテンツ項目に対応づけてコンテンツが記憶されたコンテンツデータベースと、コンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を前記携帯型端末から受信する受信手段と、受信されたコンテンツ項目に対応するコンテンツを前記コンテンツデータベースから読み出す読み出し手段と、受信された配信先特定情報に基づいて配信先の据置型端末を特定する特定手段と、読み出されたコンテンツを前記配信先の据置型端末へ送信するコンテンツ送信手段と、を有することを特徴とする。

【0008】また、本発明に係る情報配信方法は、携帯型端末と、コンテンツ項目に対応づけてコンテンツが記憶されたコンテンツデータベースを備えた前記携帯型端末とネットワークを介して通信可能なサーバと、前記サーバからコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えた据置型端末と、を含んで構

成された情報配信システムにおける情報配信方法であって、ユーザにより入力された配信希望のコンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を、前記携帯型端末から前記サーバへ送信する配信要求送信工程と、前記サーバにて、受信されたコンテンツ項目に対応するコンテンツを前記コンテンツデータベースから読み出すとともに、受信された配信先特定情報に基づいて配信先の据置型端末を特定する配信準備工程と、読み出されたコンテンツを前記サーバから前記配信先の据置型端末へ送信するコンテンツ送信工程と、を有することを特徴とする。

【0009】また、本発明に係るサーバは、ネットワークを介して通信可能な携帯型端末、及びコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えた据置型端末とともに、情報配信システムを構成するサーバであって、コンテンツ項目に対応づけてコンテンツが記憶されたコンテンツデータベースと、前記携帯型端末のユーザが配信を希望するコンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を、前記携帯型端末から受信する受信手段と、受信されたコンテンツ項目に対応するコンテンツを前記コンテンツデータベースから読み出す読み出し手段と、受信された配信先特定情報に基づいて配信先の据置型端末を特定する特定手段と、読み出されたコンテンツを前記配信先の据置型端末へ送信するコンテンツ送信手段と、を有することを特徴とする。

【0010】また、本発明に係る携帯型端末は、コンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を受信し、前記コンテンツ項目に対応するコンテンツを、前記配信先特定情報に基づき特定される配信先の据置型端末へ送信する機能を有するサーバと、前記サーバからコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えた据置型端末とともに、情報配信システムを構成する携帯型端末であって、ユーザが配信を希望するコンテンツ項目情報及び配信先特定情報を入力するための入力手段と、入力されたコンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を前記サーバへ送信する送信手段と、を有することを特徴とする。

【0011】ところで、上記本発明に係る情報配信システム、情報配信方法、サーバ、及び携帯型端末は、同じ技術的思想に基づくものであり、それぞれ当該技術的思想を、情報配信システムから捉えたもの、情報配信方法から捉えたもの、サーバから捉えたもの、携帯型端末から捉えたものである。

【0012】そこで、以下では、本発明に係る情報配信システムによる課題解決手段を説明するが、情報配信方法、サーバ及び携帯型端末についての課題解決手段も同一思想に基づくものである。

【0013】本発明に係る情報配信システムは、携帯型

端末と、携帯型端末とネットワークを介して通信可能なサーバと、据置型端末とを含んで構成されており、サーバはコンテンツ項目に対応づけてコンテンツが記憶されたコンテンツデータベースを備え、据置型端末はサーバからコンテンツを受信し受信されたコンテンツを記憶装置に記憶する機能を備えている。

【0014】ここで、携帯型端末のユーザが、入力手段により、配信を希望するコンテンツ項目情報及び配信先特定情報を入力すると、送信手段が、入力されたコンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求をサーバへ送信する。

【0015】サーバでは、受信手段が、コンテンツ項目情報及び配信先特定情報が添付された配信要求を携帯型端末から受信すると、読み出し手段が、コンテンツ項目に対応するコンテンツをコンテンツデータベースから読み出すとともに、特定手段が配信先特定情報より配信先の据置型端末を特定する。

【0016】ここでは、配信先特定情報として配信先の据置型端末のネットワークアドレスを受信し、当該ネットワークアドレスで配信先の据置型端末を特定してもよい。また、例えば、特定手段が、携帯型端末のユーザ毎に設定された配信先候補としての1つ又は複数の据置型端末のネットワークアドレス情報が記憶された配信先テーブルを備え、配信先特定情報として、携帯型端末のユーザ識別情報及び配信先として選択された据置型端末の選択情報を受信し、配信先テーブルから1つ（又は場合により複数）の据置型端末のネットワークアドレス情報を特定してもよい。

【0017】そして、コンテンツ送信手段が、読み出されたコンテンツを配信先の据置型端末へ送信する。当該コンテンツは、配信先の据置型端末により受信され記憶装置に記憶される。

【0018】なお、サーバと据置型端末の間のネットワークは、有線ネットワークでも、無線ネットワークでも構わない。一般に、データ量の多いコンテンツの送信には数十分程度を要するので、このようなデータ量の多いコンテンツを頻繁に送信する場合には、通信料金が一定額の有線ネットワークを用いると、経済的な利点がある。

【0019】このようにして、ユーザは、配信を希望するコンテンツ項目情報及び配信先特定情報を携帯型端末から入力することで、当該配信先の据置型端末へ所望のコンテンツを配信させることができるので、コンテンツ配信に関するユーザの使い勝手を向上させることができる。

【0020】ところで、本発明は、さらに、情報配信の実行前の事前確認（いわゆるプレビュー）を実現するべく、以下の構成とすることができる。

【0021】本発明に係る情報配信システムは、上記構成に対し、前記携帯型端末は、ユーザが事前確認を希望

する確認対象のコンテンツ項目情報を入力するための事前確認入力手段と、入力された確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を前記サーバへ送信する事前確認用送信手段と、前記サーバから事前確認用コンテンツを受信する事前確認用受信手段と、受信された事前確認用コンテンツを出力する事前確認用出力手段と、をさらに有し、前記サーバは、コンテンツ項目に対応づけて事前確認用コンテンツが記憶された事前確認用コンテンツデータベースと、確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を前記携帯型端末から受信する事前確認用受信手段と、受信されたコンテンツ項目に対応する事前確認用コンテンツを前記事前確認用コンテンツデータベースから読み出す事前確認用読み出し手段と、読み出された事前確認用コンテンツを前記携帯型端末へ送信する事前確認用送信手段と、をさらに有することを特徴とする。

【0022】また、本発明に係る情報配信方法は、上記構成に対し、前記配信要求送信工程に先立って実行される、ユーザにより入力された確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を、前記携帯型端末から前記サーバへ送信する確認要求送信工程と、前記サーバにて、コンテンツ項目に対応づけて事前確認用コンテンツが記憶された事前確認用コンテンツデータベースから、受信された確認対象のコンテンツ項目に対応する事前確認用コンテンツを読み出す読出し工程と、読み出された事前確認用コンテンツを前記サーバから前記携帯型端末へ送信する事前確認用送信工程と、前記携帯型端末にて、受信された事前確認用コンテンツを出力する出力工程と、をさらに有することを特徴とする。

【0023】また、本発明に係るサーバは、上記構成に対し、コンテンツ項目に対応づけて事前確認用コンテンツが記憶された事前確認用コンテンツデータベースと、前記携帯型端末のユーザが事前確認を希望する確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を、前記携帯型端末から受信する事前確認用受信手段と、受信されたコンテンツ項目に対応する事前確認用コンテンツを前記事前確認用コンテンツデータベースから読み出す事前確認用読み出し手段と、読み出された事前確認用コンテンツを前記携帯型端末へ送信する事前確認用送信手段と、をさらに有することを特徴とする。

【0024】また、本発明に係る携帯型端末は、上記構成に対し、ユーザが事前確認を希望する確認対象のコンテンツ項目情報を入力するための事前確認入力手段と、事前確認用コンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を受信し且つ前記事前確認用コンテンツ項目に対応する事前確認用コンテンツを要求元へ送信する機能を備えたサーバへ、前記入力された確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を送信する事前確認用送信手段と、前記サーバから事前確認用コンテンツを受信する事前確認用受信手段と、受信された事前確認用

コンテンツを出力する事前確認用出力手段と、をさらに有することを特徴とする。

【0025】上記構成の情報配信システムでは、携帯型端末のユーザが、事前確認用入力手段により、事前確認を希望する確認対象のコンテンツ項目情報を入力すると、事前確認用送信手段が、入力された確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求をサーバへ送信する。

【0026】一方、事前確認用コンテンツデータベースを備えたサーバでは、事前確認用受信手段が、確認対象のコンテンツ項目情報が添付された事前確認要求を携帯型端末から受信すると、事前確認用読み出し手段が、受信されたコンテンツ項目に対応する事前確認用コンテンツを事前確認用コンテンツデータベースから読み出し、事前確認用送信手段が、読み出された事前確認用コンテンツを携帯型端末へ送信する。

【0027】そして、携帯型端末では、事前確認用受信手段がサーバから事前確認用コンテンツを受信すると、事前確認用出力手段が受信された事前確認用コンテンツを出力する。この出力には、音声出力、画像や文字等の表示、印刷出力等が含まれる。

【0028】このようにして、ユーザは、確認希望の事前確認用コンテンツ項目情報を携帯型端末から入力することで、当該事前確認用コンテンツを携帯型端末へ配信させ、携帯型端末から出力された事前確認用コンテンツを見る又は聞くことができる。これにより、ユーザはあるコンテンツの配信指示に先立ち、当該コンテンツを配信させるか否かを判断することが可能となり、コンテンツ配信に関するユーザの使い勝手をさらに向上させることができる。

【0029】**【発明の実施の形態】**以下、本発明に係る情報配信システム、情報配信方法、サーバ及び携帯型端末の一実施形態について説明する。図1には、情報配信システムの全体構成図を示す。この図1に示すように、情報配信システム1は、携帯電話30と、サーバ10と、パーソナルコンピュータ（パソコン）等の据置型端末50とを含んで構成されており、携帯電話30とサーバ10間は無線通信回線80により接続され、サーバ10と据置型端末50間は、一例として、定額料金制の有線通信回線70により接続されている。

【0030】携帯電話30は、ユーザが配信を希望するコンテンツ項目及び配信先を選択しプレビュー要求指示やコンテンツ配信指示を行うための操作部32と、操作部32から選択・指示された選択内容及び指示内容をサーバ10へ送信する送信部34と、プレビューコンテンツや各種画面データ等をサーバ10から受信する受信部36と、プレビューコンテンツに含まれた音声データ等を出力する音声出力部38と、プレビューコンテンツに含まれた画像データや各種画面データ等を表示する表示

部 40 とを含んで構成されている。具体的には、図 16 に示す携帯電話 30 の一例において、音声出力部 38 はマイク部に、表示部 40 は液晶ディスプレイに相当し、操作部 32 は番号等の入力部 32A、表示部 40 上での上下左右への選択部分の移動を指示する方向指示部 32B、選択確定を指示する選択ボタン 32C と、情報配信サービスのメニュー画面を呼び出すメニューボタン 32D 等に相当する。

【0031】このような携帯電話 30 は本発明の携帯型端末の一例であり、本実施形態では携帯電話 30 を用いた例を示すが、これに限定されるものではなく、例えば、専ら音楽等のコンテンツの受信・再生や電子メール等に使用されるいわゆるモバイル端末等であってもよい。

【0032】サーバ 10 は、コンテンツ項目に対応づけてコンテンツが記憶されたコンテンツデータベース 22 と、コンテンツ項目に対応づけてプレビューコンテンツが記憶されたプレビューデータベース 18 と、携帯電話 30 のユーザにより選択・指示された選択内容及び指示内容を携帯電話 30 から受信する受信部 12 と、選択されたコンテンツをコンテンツデータベース 22 から読み出すとともに、選択されたプレビューコンテンツをプレビューデータベース 18 から読み出す読出部 16 と、読み出されたプレビューコンテンツを携帯電話 30 へ送信するプレビュー送信部 20 と、選択された配信先の据置型端末 50 を特定する特定部 14 と、読み出されたコンテンツを配信先の据置型端末 50 へ送信するコンテンツ送信部 24 と、サーバ 10 の各部の動作を監視・制御する制御部 26 とを含んで構成されている。

【0033】このうち特定部 14 は、携帯電話 30 のユーザ毎に配信先の候補の据置型端末 50 のホスト名が記憶された配信先テーブル 14A を備え、この配信先テーブル 14A を参照してユーザ選択情報に対応する据置型端末 50 を特定する。また、上記読出部 16 は、プレビューコンテンツ以外に、後述の情報配信処理の各種画面（図 4 等）の画像データやメッセージファイル等から読み出す機能も有し、プレビュー送信部 20 はこれら各種画面の画像データやメッセージデータを携帯電話 30 へ送信する機能も有する。

【0034】据置型端末 50 は、パソコンを初め、コンテンツを記憶可能な程度の記憶容量を持つ記憶装置（ハードディスク等）が内蔵された電気製品、例えば、オーディオ機器、デジタルプリンタ等に相当する。このように据置型端末 50 の一構成例としてパソコンの例を図 1 に示す。

【0035】この図 1 に示すように、据置型端末 50 は、サーバ 10 からコンテンツを受信する受信部 52 と、コンテンツを記憶するためのハードディスク等から成る記憶装置 54 と、コンテンツを選択し視聴する操作

をするためのキーボードやマウスから成る操作部 56 と、コンテンツに含まれた音声データ等を出力するスピーカから成る音声出力部 58 と、コンテンツに含まれた画像データ・文字データ等を表示するディスプレイから成る表示部 60 と、コンテンツに含まれた画像データ・文字データ等を印刷出力するローカルプリンタから成る印字部 62 と、据置型端末 50 の各部の動作を監視・制御する制御部 64 とを含んで構成されている。

【0036】次に、本実施形態の作用として、情報配信システム 1 で実行される情報配信処理について説明する。携帯電話 30 のユーザが、図 16 のメニューボタン 32D を操作すると、情報配信処理要求が携帯電話 30 からサーバ 10 へ送信され、サーバ 10 において制御部 26 の制御下で、図 2、図 3 の情報配信処理が実行開始される。

【0037】図 2 のステップ 102 では図 4 のようなメニュー選択画面の画像データを携帯電話 30 へ送信することにより当該メニュー選択画面を携帯電話 30 の表示部 40 に表示させ、次のステップ 104 で選択待ちをする。図 4 のメニュー選択画面では、ユーザは、図 16 の方向指示部 32B を操作して選択枠 W を矢印 A 方向に沿って上下に移動させ、所望のメニュー項目のところで選択ボタン 32C を押すことにより、映画、音楽、ゲーム、本等から 1 つのメニュー項目を選択することができる。

【0038】メニュー項目が選択されると、ステップ 106 へ進み、図 5 のようなジャンル選択画面を携帯電話 30 の表示部 40 に表示させ、次のステップ 108 で選択待ちをする。図 5 のジャンル選択画面では、図 4 の画面と同様の要領で、ユーザにより 1 つのジャンル（ここでは音楽ジャンル）が選択される。

【0039】ジャンルが選択されると、ステップ 110 へ進み、図 6 のような対象品目選択画面を携帯電話 30 の表示部 40 に表示させ、次のステップ 112 で選択待ちをする。図 6 の対象品目選択画面では、図 4 の画面と同様の要領で、ユーザにより 1 つの対象品目（ここでは曲目）が選択される。

【0040】対象品目が選択されると、ステップ 114 へ進み、図 7 のようなプレビュー選択画面を携帯電話 30 の表示部 40 に表示させ、プレビュー（ここでは対象の曲目を試聴する）か又はプレビューせずに図 6 の対象品目選択画面（曲目選択画面）へ戻るかをユーザに選択させる。この図 7 では「はい」又は「戻る」が選択される。

【0041】ここで対象品目選択画面へ戻る選択がされた場合はステップ 110 へ戻り、一方、プレビューする選択がされた場合はステップ 118 へ進み、プレビューデータベース 18 から対象品目のコンテンツを読み出し携帯電話 30 へ配信する。この読み出しと配信が完了すると、ステップ 122 へ進み、図 8 のような購入選択画

面を携帯電話 30 の表示部 40 に表示させ、購入するか又は購入せずに図 6 の対象品目選択画面（曲目選択画面）へ戻るかをユーザに選択させる。この図 8 では「はい」又は「戻る」が選択される。

【0042】ここで対象品目選択画面へ戻る選択がされた場合はステップ 110 へ戻り、一方、購入する選択がされた場合は図 3 のステップ 126 へ進み、当該携帯電話 30 のユーザの配信先情報と配信先テーブル 14A から読み出す。例えば、図 9 の配信先テーブル 14A から、当該携帯電話 30 のユーザ A に対応する配信先情報（太神部）を読み出す。

【0043】次のステップ 128 では、当該ユーザの配信先が 1 つか否かを判定し、配信先が 1 つであれば、配信先の選択は不要なので、後述のステップ 134 へ進む。一方、配信先が複数であれば、ステップ 130 へ進み、読み出された配信先情報が表示された図 10 のような配信先選択画面を携帯電話 30 の表示部 40 に表示させ、次のステップ 132 で選択待ちをする。図 10 の配信先選択画面では、図 4 の画面と同様の要領で、ユーザにより 1 つの配信先が選択される。なお、この画面にて、複数の配信先を選択できるよう構成し、後述のステップ 140 で当該複数の配信先へ配信するようにしてもよい。

【0044】配信先が選択されると、ステップ 134 へ進み、図 11 のような配信指示画面を携帯電話 30 の表示部 40 に表示させ、配信するか否かをユーザに選択させる。この図 11 では「はい」又は「いいえ」が選択される。

【0045】ここで、配信しない選択がされた場合はステップ 138 へ進み、図 12 のような配信中止メッセージを携帯電話 30 の表示部 40 に表示させ、他の対象品目を選択するか否かをユーザに選択させる。その後、後述のステップ 146 へ進む。

【0046】一方、ステップ 136 で配信する選択がされた場合はステップ 140 へ進み、コンテンツデータベース 22 から対象品目のコンテンツを読み出し、読み出したコンテンツを配信先の据置型端末 50 へ配信する。このとき、配信先はホスト名（図 9 参照）で特定しているが、このホスト名は通常のインターネットと同様に、通信網内の図示しない DNS サーバにより、配信先の IP アドレスに変換され、上記コンテンツが配信先の据置型端末 50 へ配信されることとなる。

【0047】上記読み出しと配信が完了すると、ステップ 144 へ進み、図 13 のような配信完了メッセージを携帯電話 30 の表示部 40 に表示させ、さらに他の対象品目を選択するか否かをユーザに選択させる。

【0048】次のステップ 146 では図 12 又は図 13 の画面にて他の対象品目を選択する旨の選択がされたか否かを判定し、他の対象品目を選択する場合は図 2 のステップ 110 へ戻り、対象品目の選択以降の処理を再度

実行する。一方、他の対象品目を選択しない場合は情報配信処理を終了する。

【0049】以上の情報配信処理により、携帯電話 30 のユーザは、配信を希望するコンテンツ項目と配信先を携帯電話 30 から選択することで、当該配信先の据置型端末 50 へ所望のコンテンツを配信させることができ、これにより、ユーザは日中に、所望のコンテンツを配信先の据置型端末（例えば、自宅のパソコン）50 へ配信させておき、夜間帰宅後に、当該据置型端末 50 からコンテンツを視聴することができ、コンテンツ配信に関するユーザの使い勝手を飛躍的に向上させることができる。

【0050】また、ユーザはコンテンツの配信指示に先立ち、そのコンテンツ項目のプレビューコンテンツを携帯電話 30 から確認することができ、当該コンテンツを配信させるか否かを慎重に判断することが可能となり、コンテンツ配信に関するユーザの使い勝手をさらに向上させることができる。

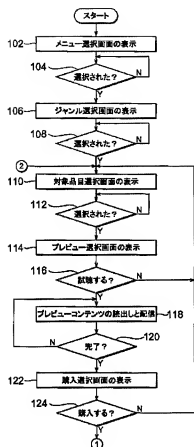
【0051】また、本実施形態では、サーバ 10 と据置型端末 50 間は、定額料金制の有線通信回線 70 により接続されているので、データ量の多いコンテンツの送信（数十分程度を要する送信）を頻繁に実行しても、負担する通信料金については一定額で済むという点で、料金面の利点があり、使用していない日中の時間帯の有線通信回線を有効利用できるという利点もある。もちろん、サーバと据置型端末との間の通信回線は、定額料金でない有線通信回線や無線通信回線を採用してもよく、本発明に係る効果は、同様にあることができる。

【0052】なお、上記図 2、図 3 の情報配信処理では、対象コンテンツの配信指示の前に、当該コンテンツをプレビューすることを必須としたが、図 7 のプレビュー選択画面で試聴せずに図 8 の購入選択画面へジャンプできるよう処理を構成してもよい。

【0053】また、ユーザは、自宅のパソコン 60 から、所定操作で図 14 の配信先登録画面を表示部 60 へ表示させ、キーボードを用いて新たな配信先の追加や不要な配信先の削除等を行うことができる。例えば、ユーザが、図 14 に矢印 E で示す新たな配信先「3、自宅プリンタ」とそのホスト名「ホスト P1」を追加すると、配信先テーブル 14A に、図 15 に矢印 F で示す新たな配信先「3、自宅プリンタ」の情報が追加される。このようにして、ユーザは、配信先情報の登録を円滑に実行することができる。

【0054】これと同様に、携帯電話 30 の表示部 40 に表示させる画面も、各ユーザで自由に編集可能としてもよい。例えば、図 4 や図 5 の画面について、各ユーザが最も頻繁に選択する項目を一番上になるよう配置変更するとか、不要項目を削除する等の画面編集を可能とすれば、ユーザの使い勝手をより向上させることができる。

【図 2】



【図 7】

プレビュー選択

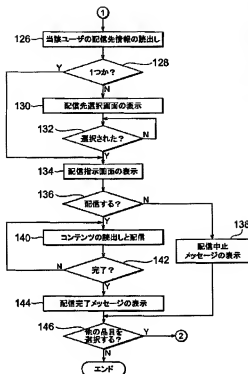
曲目 ABC
歌手 PQR
作詞 ST
作曲 ST
編曲 ST

●CD先上げチャート初登場1位!! ●

視聴しますか? ☐ はい ☐ いいえ

曲目選択へ 戻る

【図 3】



【図 9】

ユーザA	配信先	ホスト名
ユーザA	1. 自宅パソコン	ホストC1
	2. 自宅オーディオ	ホストA1
	3. 会社パソコン	ホストC2
ユーザB	1. 自宅パソコン	ホストC3
ユーザC	1. 自宅パソコン	ホストC4
	2. 会社パソコン	ホストC5
⋮	⋮	⋮

【図 13】

配信を

完了しました

他の曲を選択する?
☐ はい ☐ いいえ

【図 14】

配信先登録	
配信先	ホスト名
1. 自宅パソコン	ホストC1
2. 自宅オーディオ	ホストA1
3. 自宅プリンタ	ホストP1
4. 会社パソコン	ホストC2

【図 11】

配信指示

曲目 ABC
配信先 自宅パソコン
配信見積時間 約2分

配信しますか? ☐ はい ☐ いいえ

【図 12】

配信を

中止しました

他の曲を選択する?
☐ はい ☐ いいえ

【図15】

14A		
ユーザA	配信先	ホスト名
ユーザA	1. 自宅パソコン	ホストC1
	2. 自宅オーディオ	ホストA1
	3. 自宅プリンタ	ホストP1
	4. 会社パソコン	ホストC2
ユーザB	1. 自宅パソコン	ホストC3
ユーザC	1. 自宅パソコン	ホストC4
	2. 会社パソコン	ホストC5
⋮	⋮	⋮

【図16】

